

# 特集：日本医療 マネジメント学会 報告

第17回高根支部学術集会「地域で切り拓く明日の医療」～人と人との繋がりを目指して～

～地域を結ぶ～ 登録医をご紹介します！ 医療法人 神崎耳鼻咽喉科医院  
理事長 神崎裕士 先生

STOP!! コンビニ受診 救急医療を必要としている人がいます

インフルエンザウィルスの入口と出口

中学生地域医療現場体験

NHK 海外たすけあい 今年も実施します

外来担当一覧

益田赤十字病院広報誌

2018年 秋号

# だより 高津川

*the takatsu river letter*

日本医療マネジメント学会  
第17回島根支部学術集会

「地域で切り拓く明日の医療」～人と人との繋がりを目指して～



地域包括ケアシステムの構築について考える「第17回医療マネジメント学会島根地方会」が9月29日、島根県芸術文化センターグラントワで開催されました。

地域包括ケアシステム  
という言葉の意味を聞いた  
ことがありますか？

日本は現在、国際的にも例のないスピードで高齢化しており、医療・介護の需要が増大しています。そのため、高齢者になっても住み慣れた地域で、自立した生活を最期まで送ることができるよう、必要な医療・介護・福祉サービスなどが一体的に提供されることが求められます。このような地域の包括的な支援・サービスの提供体制を「地域包括ケアシステム」といいます。今回は、それぞれの職種で、地域包括ケアシステムのまちづくりに取り組んでいる、先生方にお集まりいただき、お話をいただきましたので、ご報告いたします。

はじめに厚生労働省で都道府県の地域包括ケアシステム策定支援に従事されました  
伴 正海先生に  
ご講演いただきました

「納得解を求めることが必要！」

前厚生労働省 伴 正海先生

【講演要旨】

まちづくりの取り組みにあたり、地域ごとに応じた、システムづくりが必要になります。そのためには、医療・介護・在宅について、地域住民に對し、どの医療サービスを受ければ良いかの選択肢を提示してあげることが重要です。医療や介護の制度の常識は、住民に取っては常識ではないのです。その社会とのギャップを埋める作業が必要になります。

これから協議を進めて行く上で、地域住民、医療・介護関係者、行政全員が満足するシステムづくりは大変困難です。関係者が納得できる落としどころを求めることが最善で最短の解決策になるでしょう。



ランチョンセミナーでは、  
長野県佐久市 佐久総合病院の  
北澤 彰浩先生に  
ご講演いただきました

「一人暮らしは良いが、  
ひとりぼっちにしない」

佐久総合病院 北澤 彰浩先生

佐久地域では「ひとりぼっちにしない」地域づくりを行っています。孤独であることの悪影響は、1日にタバコを15本吸うことに匹敵するといわれ、孤独は心臓病や認知症など多くの疾患のリスクを高めます。そのため、佐久市が運営するサポートセンターで体操教室など地域全体で住民の方たちが集える場所や機会を増やしてケアをしています。

また、人生の最期の意思決定をあらかじめ考えておく、「ごころづもり書」の取組みを支援しています。あらかじめ自身の最期をどうしたいか決めておけば、万が一緊急で運ばれた際に医師や看護師がその方の最期の希望に寄り添うことができます。このように「ひとりぼっちにしない」「自分らしく最期まで希望するように生きられる」まちづくりを地域住民が主体となっていくことが大切です。



「地域包括ケア  
システムの実現に  
向けた課題と  
展望」をテーマに  
シンポジウムを  
行いました



訪問看護ステーションせきせい  
山田 理絵 先生



雲南市立病院  
太田 龍一 先生



益田赤十字病院  
渋谷 功志 先生



松江市  
高野 美智子 先生



すざうら医院  
馬庭 章子 先生

午後のシンポジウムでは、5人の様々な職種の方が集まり、「多職種連携の在り方」について、討論会が行われました。そこでは、医師、看護師、ケアマネジャー、訪問看護ステーションなど様々な職種が連携する相手の専門性(仕事)を理解することが必要であることや、そのためには、違う職種の勉強会や情報交換会に積極的に参加することが重要で、そうすればお互いの情報共有も可能になり、真の顔の見える連携づくりが可能になると貴重な意見をいただきました。

教えて！  
ハートラ  
ちゃん



多職種連携がうまく  
いくようになるの？  
地域包括ケアシステムと  
どんな関係があるの？

日本赤十字社  
公式マスコットキャラクター  
ハートラちゃん

地域の高齢者に関する情報の共有が可能になります。つまり地域で暮らしていた生活背景であったり、入院中の食事、歩行状態など、あらかじめ把握していれば、退院のための計画も早期に作成でき、スムーズな退院にも繋がります。そして連携は医療関係者だけではなくありません。地域の皆様にも、高齢者の閉じこもり防止や、認知症の早期発見、ゴミ出し・買い物支援など、日常生活支援の協力も求められます。地域の人たちが皆で連携して支えあう。そんなまちづくりのことを、地域包括ケアシステムと呼んでいます。

当地域は、まだまだ連携体制が遅れていますが、今回発表された先生方の意見を参考に、市民の皆様と力を合わせて、ご当地の地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。

# 救急医療を必要と している人がいます。

益田赤十字病院は、急性期を担う地域の中核病院です。入院・手術などを要する重篤な症状の方に対し、二次救急指定病院として24時間体制で救急医療を提供しております。救急外来は、いつでも開いている“コンビニのような病院ではない”ということをご理解ください。



## STOP!!コンビニ受診

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

コンビニ受診とは、一般的に外来診療をやっていない休日や夜間に緊急性のない軽症患者が病院内の救急外来を自己都合で受診する行為を指します。

夜間・救急外来を受診する前に・・・  
電話相談を活用し、対処法や病院や診療所にかかるべきか相談してください。

- まずは健康ダイヤル24(フリーダイヤル・24時間年中無休) ☎ 0120-506-103
  - 島根県子ども医療電話相談 ☎ #8000 または ☎ 03-3478-1060
- ※但し、緊急性が高く、命の危険を感じたときは速やかに夜間・救急外来を受診してください。

当院と連携のある地域の登録医をご紹介します。  
記念すべき1回目となる今回は、  
“医療法人 神崎耳鼻咽喉科医院 理事長 神崎裕士 先生”  
にインタビューさせていただきました。



生まれは山口県下関市彦島です。そこは、造船の町で、父はサラリーマンでした。昭和25年11月の雪が降り始めた寒い夜、予定よりも1か月早く、2437gの低体重児で生まれました。幼いころは病弱で、夜に発熱し、診療所に行くことも多かったようですが、いつも診てくれるとは限らなかったと母は悔しそうに話します。

大学は、いったんは立命館大学の工学部に入学しましたが、卒業時自分はサラリーマンには向かないと確信し、医師を目指しました。運よく、鳥取大学医学部に入学できました。

入局した耳鼻科では、教授に最も怒られた医師でしたが、その期間が自分の財産になったと感謝しております。平成3年7月益田赤十字病院への赴任を命じられました。1人体制でしたが、教授からしっかり手術するよう言われました。取りかかるとの遅い私は、外来が延長し出前のかつ井をかき込み終える頃“手術の準備ができました”との知らせを聞く日々でした。忙しかったですが、一度もやめたいと思ったことはありませんでした。しかし、この地域で耳鼻科疾患の問題が起これば責任はすべて自分のところに来ると覚悟していました。そして赴任時、以下のことを決めていました。

- 1)手術が必要なら、応援を頼んでもここで解決する方法を考える
- 2)めまい、顔面神経麻痺、難聴など、補聴器の適正化も含めた神経耳鼻科学分野の治療を推進する
- 3)学校の耳鼻科検診を実施する

これらは、看護師のサポート、大学からの応援により実施

することができました。そして、今振り返ると、多くの診療や手術に取り組むことができた経験は、私の財産となっていますが、それは長時間の手術や難渋する診察の中で、献身的で我慢強い看護師たちのおかげの上で成り立ってきました。当時日赤でみた本物の看護師像は、今も私の胸の中にあります。

当初、開業は全く考えていなかったのですが、市内の耳鼻科開業の先生が突然倒れ、日赤の耳鼻科外来も、1人では外来と手術をこなすことが困難な状況となりました。自分が開業すれば、また新たな耳鼻科医が益田赤十字病院に来るのではと思い、開業に至りました。

開業して益田市医師会員ではありませんが、この地域の耳鼻科医療への私の関わり方は当時と変わりなく、自分の診療所も日赤や、医師会病院の耳鼻科の分院と思い日々の診療に勤めています。

★登録医とは、患者の皆様のお病状にあった継続性のある医療を切れ目なく行うため、当院と医療連携している地域の医療機関の先生方のことです。

医療法人 神崎耳鼻咽喉科医院

島根県益田市あげほの東町16-1 TEL.0856-22-0551

診療時間

月～金曜日(木曜日に限り午前みの診療)  
8:30～12:30、15:00～18:30  
土曜日8:30～14:00

休診日/日曜・祝祭日・木曜日の午後・年末年始、盆休



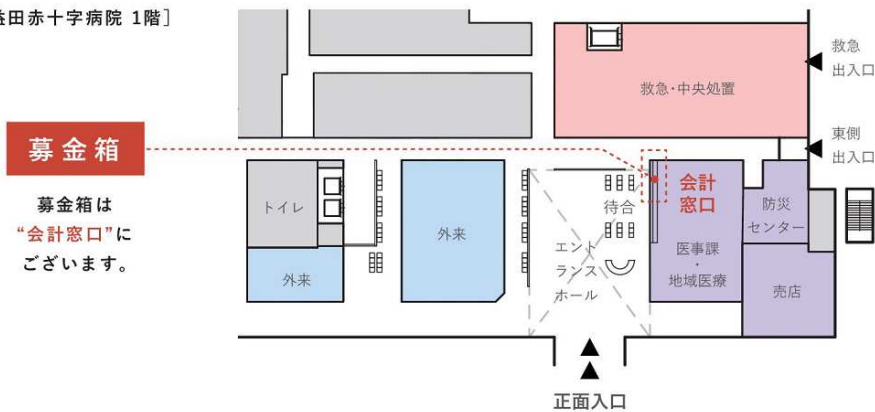
## NHK 海外たすけあい

今年も実施します



日本赤十字社は毎年12月1日～25日に、NHKと共催で募金キャンペーン「NHK海外たすけあい」を実施しています。お寄せいただいた寄付は、世界中の紛争、災害、病気で苦しむ人々の支援に役立てられます。募金のご協力をお願いします。

[益田赤十字病院 1階]



もっと情報を知りたい方はキャンペーン特設サイトをチェック

赤十字 海外たすけあい



## インフルエンザウイルスの入口と出口



感染管理認定看護師 大賀 香織



私たちの体でインフルエンザウイルスの入口となるのは、鼻や口です。ウイルスは、鼻や口から入ったのに付着し、約15～20分で細胞内に入り込みます。したがって、ウイルスが自分に入っていないよう、マスクを正しく着用することが大切です。マスクから鼻が出ていたり、顎にマスクをあてているのは効果がありません。一方、インフルエンザを発症した人は、咳やくしゃみにたくさんのウイルスを含ませて排出しています。つまり出口は、やはり鼻や口です。発症から間もない、まだ熱が高くない時期にも少しずつウイルスは排出されていると言われています。インフルエンザに罹った人がウイルスの出口を覆っておく、それが感染を広げないための重要な対策となります。「のどの調子がおかしいな、鼻水が出るな」と思ったその時から、マスクの着用をしていただくのが効果的です。

また、飛び出したウイルスは、数時間は生きているといわれており、それが手に付いてしまうことがあります。その手で鼻や口に触れると、ウイルスが入り込む機会となってしまいます。手洗いやアルコール消毒を行い、手に付いたウイルスを除去しましょう。ウイルスがどこから入ったところから出てくるのかを考えてみると、感染対策にはきちんと意味があるということがわかります。

病院はたくさんのお患者さんが集まる場所です。インフルエンザをもらわない、そしてうつさないよう、一人一人が心がけましょう。

## 中学生地域医療現場体験



救急外来で内臓の機能について説明を受ける様子。

人形を使って心音や呼吸を確認しています。

8月21日(水)に中学生地域医療現場体験を行いました。この体験学習は、地域の医療現場体験を通して、生命の尊重や医師看護師等の職業の重要性について理解を深めてもらい、地域医療従事者を目指す中学生の育成を図ることを目的としています。

夏休み中でしたが、益田中学校と鎌手中学校から8名の生徒さんが参加してくださいました。

午前中は、看護師から「からだのしくみ」について教わり、参加者同士で脈拍や血圧を測定しました。

午後からは病棟と救急外来をそれぞれ見学したいところに分かれて見学し、現場の雰囲気を感じることができたのではないのでしょうか。

参加者からは、「実際に看護師の仕事を見て、医師の指示したことをすぐ対応していて、カッコいいなと思いました。」「医師・看護師だけでなく、いろんな仕事があることがわかって、良かったです。」などの感想をいただきました。

この活動が参加された皆さんが進路を選択する際の参考になればと思います。

# 益田赤十字病院 外来担当一覧

平成30年11月1日現在

科別	診療	月	火	水	木	金	備考
内科	初診 午前	岡本栄祐 坂本詩恵 (内科・総合診療)	山口祐貴 (内科・総合診療)	岡本栄祐 (内科・総合診療)	桐田 郁 (内科・総合診療)	岡本栄祐 坂本詩恵 (内科・総合診療)	予約の表示は、予約患者さまのみ  隔週の火曜日:高橋 勉 医師(鳥根大学医学部)  隔週の木曜日:鈴木 律朗 医師(鳥根大学医学部)  本曜日(内分科・代謝):田中小百合 医師/竹野 歩 医師 (鳥根大学医学部)
	午前	馬庭泰久 (血液・免疫)	高橋/馬庭 (血液・免疫 隔週)	馬庭泰久 (血液・免疫)	鈴木/馬庭 (血液・免疫 隔週)	馬庭泰久 (血液・免疫)	
	午前	又賀建太郎 (内分科・代謝)	—	又賀建太郎 (内分科・代謝)	大学医師 (内分科・代謝)	又賀建太郎 (内分科・代謝)	
	午前	桐田 郁 (消化器)	吉田晃一郎 (消化器)	天野和寿 (消化器)	吉田晃一郎 (消化器)	山口祐貴 (消化器)	
	午前	山崎聖児 (予防 呼吸器)	—	山崎聖児 (予防 呼吸器)	—	山崎聖児 (予防 呼吸器)	
循環器科	午前	奥津地忠彦	内田利彦	手術日のため休診	奥津地忠彦	坂本寿弘	心カテ日:月~金曜日
	午前	坂本寿弘	黒田健章		黒田健章	内田利彦	ペースメーカー外来:第1本曜日(予約)
	午後	—	—	ペースメーカー外来 (予約)	—	—	休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ
神経内科	初診 再診	本谷光博	休診	伊藤芳恵	松井龍吉	中川知憲	もの忘れ外来:水曜日 14時~(予約)
	総合 午後	本谷光博 (予約)		もの忘れ外来 (予約)	—	—	—
小児科	午前	中島香雪	三浦 勤	中島香雪	三浦 勤	三浦 勤	※完全予約制(但し、1ヶ月健診、3ヶ月未満の乳児を除く)
	午前	森山あいさ	中島香雪	森山あいさ	森山あいさ	中島香雪	午前、午後ともに初診は紹介患者さまのみ
	午後	予防接種	予防接種	乳児健診	乳児健診	予防接種	神経発達外来:鳥根大学応援医師 第2本曜日(予約)
外科	初診 総合	塩田英成	黒田博彦	小柳 彰 (鳥根大学医学部 呼吸器外科) 第1-3本曜日 9時~12時	三浦龍夫	阪部晋司	手術日:月・水・金曜日
	再診	三浦龍夫	阪部晋司		塩田英成	黒田博彦	緩和ケア外来:月曜日午後(予約)、乳癌外来:火曜日 13時~(予約)
	緩和 ケア外来 (予約)	—	宮崎佳子	—	—	セカンドオピニオン外来:第1金曜日(予約) 田島 義正 医師(鳥根大学医学部消化器・総合外科教授)	
	午後	—	乳癌外来 (予約)	—	—	—	休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ
脳神経外科	午前	休診	休診	機能的脳神経外科 専門外来 (完全予約制)	石原 秀行 / 岡 史朗	休診	第1-3-5本曜日:石原 秀行 医師(山口大学 脳神経外科講師) 第2-4 本曜日:岡 史朗 医師(山口大学 脳神経外科助教)
	午後	—	—	井本 浩哉	—	—	機能的脳神経外科専門外来:第3本曜日(完全予約制) 井本 浩哉 医師(山口大学 脳神経外科助教)
整形外科	初診 総合	大塚哲也	手術日のため休診	米井 敬	手術日のため休診	吉田匡希	初診は紹介患者さまのみ
	午前	河野龍之助		大塚哲也		—	—
	午前	吉田匡希	—	横川 敬	—	米井 敬	休診日の対応:救急車受入・救急紹介のみ
皮膚科	午前	休診	林 忍	大学医師	休診	林 忍	初診は紹介患者さまのみ
泌尿器科	初診 総合	青木明彦	原 貴彦	青木明彦	手術日のため休診	永田雄大	手術日:火曜日午後・木曜日前日 CAPD外来:月曜日 午後
	再診	永田雄大	青木明彦	原 貴彦		青木明彦	—
産婦人科 ※完全予約制	1診	森山昌之	片桐敦子	片桐敦子	森山昌之	片桐 浩	※完全予約制 予約電話受付:平日の14時~16時
	2診	片桐 浩	片桐 浩	森山昌之	片桐敦子	森山昌之	—
	午後	—	—	手術 マタニティクラス (予約)	健診 (予約)	手術	予約午後診療:14時~15時(月・木)
耳鼻いんこう科	午前	休診	休診	休診	大学医師	休診	紹介患者さまのみ(受付:8時~11時)
眼科	午前	大平朝弘	大平朝弘	休診	高井保幸	大平朝弘 (12時30分まで)	初診は眼科医・眼科医からの紹介患者さまのみ受付
	午後	大平朝弘 (18時まで)	大平朝弘 (13時30分まで)			手術 (第1-3本曜日)	—
放射線科	午前	根本英光	応援医師	休診	放射線治療外来 (予約)	応援医師 放射線治療外来 (予約)	放射線室:月~金曜日(予約) アンキオ日:火・金曜日(午後) 放射線治療外来:鳥根大学応援医師(専門医) 予約:本曜日 第1-3-5週 13:00~18:00 他曜日 第2-4週 9:00~15:00
血液科	午前	手術日のため休診	手術日のため休診	手術日のため休診	手術日のため休診	手術日のため休診	—
歯科口腔外科	初診 総合	市山友子	市山友子	手術日のため 救急紹介のみ	市山友子	市山友子	初診は紹介患者さまのみ 手術日:水曜日
	再診	市山友子	市山友子	腫瘍外来 (予約)	市山友子	市山友子	腫瘍外来:水曜日(初診・再診ともに予約制) 第1本曜日:菅野貴浩(鳥根大学医学部歯科口腔外科 講師)

〒698-8501 鳥根県益田市乙吉町1-103番地1 益田赤十字病院 地域医療連携係 TEL:0856-22-1480 (代) FAX:0856-32-3314 (地域医療連携係)